

## 技術ノート KGTN 2020033001

### 現象

[ExPack] 拡張パックの GGEasyPrintSpooler とはどのようなプログラムなのか？

### 説明

GGEasyPrintSpooler は、クライアント印刷機能や通常の印刷処理を担う「印刷スプーラー」の負荷を監視し、高負荷で処理が進まない状況が発生していると考えられる時に、印刷スプーラーを再起動することで障害の復旧を試みるプログラムです。印刷スプーラーが高負荷かどうかの判断は次の2つで行い、この何れかの状況が発生した時、印刷スプーラーを再起動します。

1. プリンターの数え上げが所定の時間を越えた場合
2. 印刷スプーラーの CPU 使用率が高く、かつその状態が長く続いている場合

印刷スプーラーの再起動が行われた場合は、GG を利用しているセッションは維持されますが、印刷時のプリンター選択画面からクライアント側のプリンターが表示されないようになります（つまりクライアント側のプリンターへ印刷出来ません）。この場合は、一旦ログオフし、再度ログオンすることでクライアント側のプリンターを選択出来るようになります。

### 設定ファイル

設定ファイル GGEasyMonitor.ini の default セクションで、以下のパラメタを設定して下さい。

| 設定項目          | 説明  |
|---------------|---|
| logLevel      | ログの出力レベル, 通常は1を指定し, 障害時は4を指定  |
| logd          | ログファイルを出力するフォルダー  |
| serviceName   | 印刷スプーラーのサービス名 (= Spooler)   |
| maxElapse     | プリンターの数え上げの正常時の最長時間 (秒)<br>プリンターの数え上げがこの時間を超えると再起動します。  |
| checkInterval | プリンターの数え上げのチェックを行う間隔 (秒)  |
| spoolerHigh   | 印刷スプーラーを高負荷とする閾値 (%)  |
| spoolerHmax   | 印刷スプーラーの高負荷状態を許容する時間 (秒)  |
| logLoadMinC   | CPUの負荷がこの値 (%) を超えるとログに記録   |
| logLoadMinS   | 印刷スプーラーの負荷がこの値 (%) を超えるとログに記録   |
| maxEnumPrt    | ログに記録するプリンター一覧のプリンターの最大数 (1-256)  |
| testMode      | テストモードの使用、YES = 使用する、NO = 使用しない<br>※ テストモードでは印刷スプーラーの再起動は行われませんが、再起動の条件が満たされたことがログに記録されます。設定ファイルのパラメタを決定するための調査 (適切かどうか) に利用してください。 |

Last reviewed: Apr 14, 2020

Status: DRAFT

Ref: NONE

Copyright © 2020 kitASP Corporation